レッスン：SPA/70

テーマ：サイクルおよびステーションに関する詳細

SPA/70/KE2000.N4

私の姉妹・兄弟たちよ。スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前のレッスンでは素質的可能性の５つのサイクルの他に、現在のパーソナリティーとしての人間に天上人から与えられているステーションについて述べました。前回は14のステーション、14のステップがあることを述べました。そして生命の木の上において、それらのステップは聖霊的下降なのです。私たちはそれを上昇、聖霊的上昇とは呼びません。聖霊的下降と呼びますが、それは現在のパーソナリティーの上昇なのです。既に述べたように、これら14の各ステップは特定のレベルの意識の現れを意味し、それらはより多く私達の真の本質、つまり生それ自体の特質に同調するようになります。これら14のステップは現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクル内にあります。

あるサイクルをマスターするためには、そのパーソナリティーは四面ピラミッドの頂上に立つ必要があり、この場合に立つというのは四面ピラミッドを完成させることを意味します。なぜなら、完成、完了とはマスターすることだからです。この完了とは現在のパーソナリティーについてマスターするためにピラミッドの頂上を完成させることです。言い換えれば、今や地上に立っている大きな四面ピラミッドを完成させることです。これはそのパーソナリティーが四面ピラミッドを完全に完成させたことを意味します。

さて、この四面ピラミッドと創造のセルとの関係は何でしょうか？小宇宙的には各センターは肉体あるいは現在のパーソナリティーの肉体または他の諸体のヒポスタシス（＊状態）を意味します。

一番下のセンターは生殖器官、いわゆるクンダリーニに対応します。次のセンターは太陽神経叢に対応し、太陽神経叢と言うとき私たちにとってそれは腹腔部、へその少し下を意味し、医者が考える位置とは違います。

他の２つのセンターはそれぞれ右が肝臓、左つまり聖霊的サイドは脾臓に対応します。そして中央の柱の次のセンターは心臓に対応します。

ですから、これまで５つのセンターがありましたが、次の２つのセンターは左右の肺に対応します。他の２つのセンターは肩の上方にあります。肩ではなくて、それよりいくらか上です。

そして頭のセンターです。大きな三角形のセンターです。今10のセンターがありますが、14のセンターが必要です。３つの交差点がありますが、14番目のセンターについてはどうでしょうか？このステートをマスターするということは、私達がそのポジションに来たときに初めてそれをマスターすることを意味します。なぜなら、13のセンターをマスターするともう一つは自動的に加わり、努力は必要ありません。一度そのステートに入ると、それはつまりセル全体をマスターすることになります。勿論、頭の上にその聖なるセンターがあり、そのセンターは現在のパーソナリティーが自己実現または何かに到達したことを意味しますが、その何かとは何だと思いますか？

もし現在のパーソナリティーとして私たちがこの三角形のなかにいると、あるいは現れとしての生が存在の諸世界にいると、それら全ての現れは現在のパーソナリティーであろうとまたは生それ自体であろうと、「進化」のこのステートを経なければならないのです。ですから、私たちがどこから立つかによります。もし私たちが実存の諸世界における特定のレベルから立つなら、素質的可能性のある特定のサイクルを経るたびに、私たちは進化のこのプロセスを経ることになります。しかし、生がテオーシス（＊数多くの転生を経た後に到達する成長の最終段階。神との再合一）に戻るためには、生もまたこのプロセスを経るでしょう。それゆえ、あるイデアの下にある全ての現れは…特に人間のイデアの下にある現れは…このプロセスを経なければならないのです。一なる者に戻るためには。ですから、無知のステートにある現在のパーソナリティーにとって、14のステップがあるのみならず、中宇宙的にも大宇宙的にもこのプロセスすべてを経なければならないのです。

Page2

現在のパーソナリティーの部屋にいる間、様々な助けのなかで私たちは同時に創造のセルについてもワークをする必要があるのです…小宇宙的にも。ですから。小さな四面ピラミッドを完成させるようになる時、それはまた同時に創造のセルについてワークすることになることを意味します。それは私達が自分の体、特に現在のパーソナリティーを意味する体、つまりサイコノエティカル体をマスターするようになる、という意味ではありません。なぜなら、もしそうなら、それは現在のパーソナリティーの諸体が完全に再形成されていることを意味するようになるからです。再形成はやるべき仕事ですが、だからといって今の段階では再形成が実現するということではありません…生じることに関する知識を得るためにワークは行いますが、真のワークは素質的可能性の３番目のサイクルでスタートするでしょう。

さて、部屋のなかで行う仕事、それはこの真の現れのレベルに関する知識を現在のパーソナリティーが得られるようにすることです。そして以前述べたので覚えているかもしれませんが、現在のパーソナリティーは地のエレメントから完全に目をそらすことはまだできません。そこに完全に目を向けないようになる真のワークは３番目のサイクルでスタートします。**３番目のサイクルで生じるプロセスは実際に非常に長いプロセスです。そこでは、現在のパーソナリティーがエゴの様々な側面を殺すことをスタートする準備が行われます。しかし実際に殺すのはそのサイクルではなくて、４番目のサイクルにおいてです。ですから、各サイクルにおいて、現在のパーソナリティーは同時にこの創造のセルについて小宇宙的にワークをする必要があるのです。そしてあるレベルから上になると中宇宙的にもワークがスタートします。**いつでしょうか？それについては今は説明しません。

Ｑ：太陽神軽叢を一般に知られている場所とは異なる場所に位置すると考える根拠は何でしょうか？

K：医学的に言われている太陽神経叢の場所は正しくありません。太陽神経叢は太陽のように輝いています。解剖医は胸部と腹部の間にあると考えていますが、そこには何もありません。太陽神経叢は一つのセンター、太陽であり、その言葉それ自体が物語っています。

Q：ハートが太陽であるとは考えないのですか？

K：実際には全てが太陽なのです。それら全てのセンターは太陽のように輝いています。しかし、中心的、つまり輝きの源はハートのセンターです。そして中宇宙的にはそれは太陽系の太陽です。

Q：それでは太陽神経叢は生命と結びつけることができるのですね。なぜなら、そこは胎児が育つところですから。

K：そうです、それは偶然ではありません。勿論、それ故にそのセンターは肉体の健康を意味するセンターなのです。良い健康は胎芽（＊受精後８週間未満の生体）がエネルギーを得る場所から来るのです。

Q：それでは太陽神経叢は太陽ではなくて生命をもたらすフォースと関係するのですね。

K：しかしそれは太陽なのです。なぜなら生命は生の源から与えられるからです。そしてそれこそが太陽なのです。生命を与える源です。そこはカルト的な哲学においてもバイタリティー（活力）のポイントと見なされています。この場所をひどく殴られると簡単に死に至ります。なぜなら、それによってサイコノエティカル体へのエネルギーの流れが切断されるからです。そして切り離されると肉体の死という現象が生じます。

また大きな三角形の底部にも２つのセンターがあり、それは肩の上にあります。透視能力者にはそれが見え、しばしば聖者のイコンにそれが描かれています。

Ｑ：一番上にある三角形は素質的可能性の４番目のサイクルを意味するのですか？

Ｋ：それは三位一体を意味してす。

さて、既に述べてきた各ピラミッドについてはどうでしょうか？勿論一面ピラミッドは除きますが。それ以外の全てのピラミッドは三角形から構成されています。四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッド、六面そして七面その他何であれ全て三角形で構成されており、各面は三角形になっています。

Ｑ：なぜなら、辺が等しい三角形のみが絶対パワーだからであり、等しい力があります。

Ｋ：そういうことではありません。しかし、完全、完璧であるためには、つまり例えばこの三角形をマスターするためには、この三角形の頂点を完成させることを意味します。他の全てのピラミッドについても同じことが言えます。（＊キキスは図を見ながら説明しているようです）。ですからこの三角形は小宇宙的には内側において私達の頭が含まれます。そしてこの三角形は十戒が刻まれた板です。それは私たちの２つの葉（＊解剖学的な）です。十戒はそこに書かれたのであり、石の板に書かれたのではありません。これら２つ、実際それは私たちの頭の中心です。そしてまた右肺と左肺があり、心臓、肝臓、脾臓、太陽神経叢、そしてクンダリーニがあります。

Page3

Ｑ：これまでの全ての教えでは、私たちは新約聖書のなかに留まっていました。つまりイエスが述べたことです。しかし今この時点では十戒ということで旧約聖書に関係しています。

Ｋ：私たちは旧約聖書を完全に受け入れており、それは基盤であり、その上に最愛のお方、イエス・キリストが加えられたのです。それは偶然ではありません。前に他のレッスンで述べたように、イエスキリスト・ロゴスがその特定の地域に誕生したのは偶然ではありません。つまりグラウンドが準備されていたのです。私がグラウンドという時、それは彼の到来に向けた人々のことです。イランとインドに存在していた哲学、エジプトの哲学、そして古代ギリシャの哲学、これら主の到来のための準備となった３つの主な哲学があります。しかし主の到来のための実際的準備は旧約聖書と共にモーゼに与えられたのです。なぜなら、あなた方が調べてみればわかることですが、それは当時において、一なるもの、真の神についてアプローチした唯一の信念だったからです。確かにエジプト、ギリシャの哲学を調べてみると、それらもとても近いものがありますが、しかしモーゼを通じて与えられたものほど近くはありません。

Ｑ：しかし十戒は霊的な教えというよりも、市民的、道徳に関する教えです。

Ｋ：霊的な教えに近づくためには、ある程度の努力を経なければなりません。

Ｑ：それでは彼らが言うのとは何か異なるものが必要ということですか？

Ｋ：勿論、彼らが言うことを意味しています！最愛のお方はたった一つの戒めだけを与えました。自分自身を愛するがごとく隣人を愛しなさい。どの自分でしょうか？一生懸命に努力した後にあなたが現すようになる自分です。なぜなら、その時のあなたの現れはアガピの真の現れだからです。それは愛、無条件の愛の現れです。そしてそれこそがあなたの隣人を愛する唯一の方法です。それ以外の愛の現れはエゴイズムの行為でしかないでしょう。

Ｑ：私はまだ素質的可能性のサイクルと14のステーションの関係がはっきりわかりません。ステーションとサイクルがどのように関連しているのかはっきり説明してくれますか？

Ｋ：以前のレッスンで述べたように、私たちは今そこに入るわけではありません。実際にワークをする時に説明しましょう。

さて、もし私たちがこの梯子を昇るなら、そしてもし実際に現在のパーソナリティーをマスターするなら、それはつまり不定形の諸体を完全に再形成することを意味します。しかし、不定形の諸体が創造のセルの形を取る時、それはつまり様々な素質的可能性のサイクルをワークしながら、そのために全てについてワークすることを意味します。覚えていると思いますが、創造の諸世界において生が完全に表現されるためには、それを現すために使用される手段がこの元型の形を帯びていなければなりません。もし私たちにそのフォーム、形がなければ、生は完全には表現されません。それゆえに最初は現在のパーソナリティーの諸体は不定形なのです。それはこのフォームとはまったくマッチしていません。それらは前に述べたように小さな球形のステートにあります。そして現在のパーソナリティーの全ての諸体は肉体の健康を意味する体をも含め、全てハートのセンターに球体として根付いています。ですから諸体は初めから元型にマッチしていません。徐々にゆっくりとそれらの諸体は広がってきて元型に近づいていきます。しかし諸体が元型の形になるためには、私たちはこの元型、このセルに関して小宇宙的にワークする必要があります。そして現在のパーソナリティーが素質的可能性のサイクルによって提供される素質的可能性を完全に表現するということ、それは現在のパーソナリティーが元型の形になっている諸体を使用していることを意味します。なぜなら、生が完全に表現されるためには、現在のパーソナリティーとしてでさえこのフォームの体を使用しなければならないからです。

Ｑ：素質的可能性の各サイクルにおいて、私たちは14のステーションを経なければならないのですか？

Page4

Ｋ：そうです。各サイクルにおいて、そして生それ自体に対しても。私が生それ自体と言うとき、魂のセルフ・エピグノシスも再び戻るためにはこのプロセスを経なければならないということです。生それ自体がテオーシス（＊神との再合一）に戻るためにはそれが必要です。テオーシスに戻る、それはつまり生が創造の諸世界をマスターし、神の黙想全体、あるいはその結果をマスターしたことを意味します。魂のセルフ・エピグノシスに関しては何であれ説明するのはとても困難です。

Q：現在のパーソナリティーについて小宇宙的にワークする必要があると言いましたが、それは自分自身について十分にワークした時、それは中宇宙的になる…。

Ｋ：ある程度は自動的にそうなると言えます。しかし、現在のパーソナリティーが２番目のサイクルにいる時、あるいは３番目のサイクル、あるいはある程度４番目のサイクルにいる時に中宇宙的にワークするかというと、答えはノーです。ですから中宇宙的なワークについては忘れてください。私たちは今小宇宙的な部分にフォーカスしなければならないのです。

素質的可能性の最初のサイクルにおいてはまったく努力はありません。そして２番目の素質的可能性のサイクルのなかでさえあるレベルまで行ってから初めて努力が始まり、それまでは始まりません。どれくらいの転生を経て始まるのでしょうか？答えはいろいろです。そしてその時初めて現在のパーソナリティーは、考えるということをスタートするのです。

現在のパーソナリティーが部屋から出るためには、小さな四面ピラミッドをマスターする必要があり、そうすることによってドアーが開き、現在のパーソナリティーは大きな四面ピラミッドに向かって進んでいき、その大きなピラミッドのなかにいる自分自身を見いだすのです。しかし、初めは地面に横になっておおり、立ってはいません。

このアベニューに入ることを意味する大きなドアーは、現在のパーソナリティーが180度回転したとき初めて開きます。そしてそのドアーはガブリエルの監督下にあります。その時現在のパーソナリティーは初めて上に移動し始めます。それはあなた方が２番目のサイクルで経験する理論的なワークではありません。本当の動き、本当のワークは３番目の素質的可能性のサイクルで始まりますが、それものそのサイクルに入ってすぐにスタートするわけではありません。３番目のサイクルを完了した後、４番目のサイクルで現在のパーソナリティーがエゴの様々な側面を殺すことができるようになるための準備、成長のための本当のワークです。

さて、創造のセルに関するワークとして私たちが行うのは理論的ワークであり、それは将来行う真のワークの準備となるものです。そして繰り返しますが私が真のワークと言うとき、その結果現在のパーソナリティーがその現れのステートに入り、後にエゴの様々な側面を殺し始めることができるようになるためです。

Ｑ：３番目のサイクルは180度向きを変えてドアーを通過した時にスタートするのですか？

Ｋ：違います。３番目のサイクルは現在のパーソナリティーが部屋から出た時に始まります。しかし、このアベニューに入り始めるのは少し後になります。そして「少し後」と私が言うとき、それは多くの転生を意味するかもしれません。いいですか、それはそのパーソナリティーが地上的なことにどれだけフォーカスしているかによります。

Ｑ：今のところ、14のステーションは肉体に位置しています。それは脾臓、肺、肩の上そして頭と関係しています。それらは創造のセルと関係し、それが人体に対応しています。ですから私たちが３番目のものから初めて各ステーションについて話す時、一つのステーションが完了するとき、各サイクルで14のステーションを同時に完了する必要があります。それら14のステーションは何を意味するのは、私は少し混乱しています。肉体との関係については理解していますが…14のステーションは…。

Ｋ：各ステーションは、そのパーソナリティーがもっと自分のアークエンジェル的本質から自分自身を現すことができるようになることを意味します。

Ｑ：現在のパーソナリティーが完了させる各素質的可能性のサイクル、それはこれら14のステーションの結果ですか？明らかに、あるイニシエーションが起きるか、あるいはそのパーソナリティーはあるレベルのイニシエーションを通過することになるのでしょうか？

Ｋ：そうです。

Page5

Ｑ：それは14のステーションの結果なのでしょうか？それは別々のワークではないのですか？

Ｋ：違います、別々のワークでなく、つながりがあります。私たちがより良いセルフを現そう、真の本質の特質をもっと現そうとするとき、それは生それ自体からもっともっと自分を現すことを意味します。そして生とは何でしょうか？それは意識と同じです。そしてそれは意識の下降、あるいは私たちにとっては上昇ですが。もっと意識から現すということです。

Ｑ：特定のサイクルが完了するのは変化の結果、つまりこれらの様々なセンターが上昇する結果なのでしょうか？それゆえに私たちは各サイクルにおいて14のステーションを完了させなければならないのでしょうか？それは特定のサイクルを達成する結果なのでしょうか？それとも特定のレベルを完了するために素質的可能性のサイクルを、さらにまた14のステーションについてワークするのでしょうか？

Ｋ：今小宇宙的に話していますが、そうです。現在のパーソナリティーの大きな素質的可能性のサイクルに関して言えば、ワークとは諸体をマスターすること、つまり諸体が本来の形を取るように諸体の形を再形成することです。しかし、それに成功するためには、各サイクルにおいて小宇宙的にワークを行います。小宇宙的というときそれはこの体のみならず、このフォームを取らねばならないのです。

生が現されるためには、このフォームを帯びる必要があります。さもないと、生は表現されず、生の現れだけとなります。ですから、私たちは毎回それについてワークする必要があります。しかしそれは、真のワーク、つまり３番目のサイクルで行うワークを毎回するということではありません。３番目のサイクルでは現在のパーソナリティーの体の真のワークがスタートします。その時初めて、真のワークが始まるのです。さて今、形はもはや球体ではありません；そうです、それはある形を帯びていますが、しかし３つの中心はお互いに非常に近寄っています。それゆえに今のこの次元のバイブレーションにおいては沢山の病気があるのです。なぜなら、３つのセンターがとても近くに置かれているからです。つまり、諸体がまだあまり再形成されていないということです。

Ｑ：しかし、なぜあなたは肉体を去ると病気はないと言うのですか？肉体を去っても、諸体は再形成されておらず、自己実現もしていません。それなのに病気がないと言うのですか？

Ｋ：諸体の病気ですか？しかしサイコノエティカル体は実際に何も必要としません。

もしパーソナリティーが肉体を聖霊の監督下に完全に委ねれば、肉体はどんな病気にもなりません。しかし、私たちはそこに介入するので肉体に多くのダメージを与えるのです。３つの体を再形成するための真のワークは現在のパーソナリティーが生のアベニューに入る時にスタートします。つまり２番目のドアーが開く時です。最初のドアーは部屋のドアーであり、２番目のドアーはガブリエルの監督下のドアーです。それは同じドアーではありません。何人かの人は現在のパーソナリティーが部屋を去ることができる時、ガブリエルのドアーが開くと考えているかもしれませんが…。

Ｑ：図の上ではドアーはどこにあるのですか？

Ｋ：まず私たちはこの惑星の中にいます。しかし、私たちが部屋を去る時には、私たちはピラミッドの中にいます。

さて、ピラミッドの中を移動し始める時…移動するとは多くのワークをするという意味ですが…、大きな四面ピラミッドのなかでワークを始めると、その時初めて私たちは上昇をし始めるのです…それによってガブリエルのドアーが開くようにです。そうです、私たちは小宇宙的にワークを行い、しかし同時にそれを中宇宙的に比較します。中宇宙的にワークするのではなく、ワークを比べます。真のワークは私達の体に関して小宇宙的に行われるのです。

Ｑ：諸体を再形成するワークをするとき、諸体のセンターについてもワークが行われるのですか？

Ｋ：自己実現に到達すると、もはや介入することはしません。あなたがよい健康を与えることはしません、よい健康のためのワークはもはや必要なくなるのです。

Page6

私たちが今理解していることは、私達が受け入れる努力です。その努力は非常に大きなものと見なされ、私たちは多くを犠牲にします。この存在次元における最終的分析において現実とは何でしょうか？

Ｑ：この次元（バイブレーション）において、現実とは特定の気づきのステートにおけるイリュージョンです。つまり各ステートにはそれぞれのイリュージョン、その結果としての現実があります。

Ｋ：しかし生から見れば、この次元では全てがイリュージョンです。

Ｑ：もし理論を反対側から見ると、自己実現したパーソナリティーは何に熱中しても影響を受けることはなく、肉体の健康も影響を受けることはないと言うことができますか？

Ｋ：もし現在のパーソナリティーがその自己実現のステートに留まるとしたら、勿論何もその肉体に影響を及ぼすことはありません。何故でしょうか？なぜなら、自己実現したパーソナリティーはまた物質化することができ、肉体を完全に消して再び物質化するようなこともできます。しかし、もし自己実現したパーソナリティーが下降する時は…その意味は転生のサイクルに入ることによってそのバイブレーションを下げるということですが、その時には他の人間達を助けるためにセルフを現します…その現在のパーソナリティーは再びその現れのレベルの結果、つまり他の現在のパーソナリティー達とのコミュニケーションのレベルの結果を経験することになります。全ての現れは、その現れの周波数のレベルによって、コミュニケーションのレベルによって、原因・結果の法則を被ることになります。もしその人の肉体が全くダメージを受けないステートに留まるなら、他のパーソナリティー達はその特定のパーソナリティーとコミュニケーションを取ることが不可能となるでしょう。

Ｑ：なぜですか？もし誰かが常に健康を保つなら、人々と交流できないのですか？

Ｋ：健康？健康とは何を意味しますか？あるレベルにおいて、あなたが生それ自体の特質をより多く現すことによって上昇していくと、多くの病気、あなたの肉体に関しても多くの結果を被らなくなります。しかし、人々を助けるためには、何であれ他の人々が経験していること、現象的に経験していることを経験することでしょう。そのパーソナリティーの意味は今や異なっています；実際意味は重要ではないのです。

Ｑ：今私たちは異なったレベルでお互いに話していますが、私の理解するところでは自己実現したパーソナリティーはこれらのバイブレーションにおいても聖なる本質を多いに表現していると思います。これらのバイブレーションのなかにいない自己実現したパーソナリティー、彼らはこの物質界にはおらず、それらについて心配することはしません。

Ｋ：あなたがこれらのバイブレーションと言うとき、それはどういう意味ですか？

Ｑ：肉体に触れることのできるこの物質界のことです。

Ｋ：この物質界のバイブレーションのなかには様々なレベルの現れがあります。素質的可能性の最初のサイクルを生きている現れもあれば、自己実現した現在のパーソナリティーもこの物質界にいます。しかし、コミュニケーションを取るためにはバイブレーションが非常に近いレベルでなければなりません。さもないと他の人々とコミュニケートすることは不可能です。あなたは何人くらいの人々とコミュニケーションを取ることができますか？あなたが全く理解できない人に会ったことはないですか？あなたは彼らが話している内容を理解できますか？もしあなたが会話をしなければ、人々と交わりたいという興味を示しません。**もし自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現のステートに留まるなら、その場合には勿論あなたはそのステートと交流することはできません。なぜなら、まずそのステートにおける交流手段は同調だからです。そのような現在のパーソナリティーは、まず交流するためにそのバイブレーションを５つの超感覚のレベルに下げます。でもこの地球上で何人ぐらいの人間が５つの超感覚を使用できるでしょうか？ですから、交流するためには次に五感のレベルまで降りてきます。そして五感の手段を使う結果として、その結果を被るはめになります。なぜなら、もしそのような手段を使用しなければ人々と交流できず、人々から受け入れてもらえません。**

Page7

Ｑ：わかります。しかし自分のバイブレーションを下げるのと自分が行っていることを知っていること、つまり低いレベルで表現することは同じではありません。

Ｋ：次のように説明しましょう。**もしあなたが自己実現した現在のパーソナリティーであり、転生のサイクルに入らないなら、あなたはそのレベルから、超意識的にではなくさらに高いレベルから行い、諸体を物質化したりしながら生を表現することでしょう。その場合には確かに魂のセルフ・エピグノシスとしてあなたは完全に生それ自体の「コントロール」下にあります。しかしもしそのような現在のパーソナリティーがそこにとどまらず、表現する手段を使用するなら…それらの手段とはいわゆる永遠のアトムであり、その場合永遠のアトムは完全に再形成されていますが…転生のサイクルのなかで現在のパーソナリティーとして生きるとしたら。その場合には、現在のパーソナリティーは直ちに原因・結果の法則の結果を経ることになります。もしそうでないなら、現在のパーソナリティーは他人の重荷を背負ってあげることはできず、そして転生のサイクルに留まる理由もなくなってしまいます。唯一の理由は人々の重荷を背負い、結果を被ることです。何の結果？肉体についての結果です。唯一の結果とは肉体の結果であり、サイコノエティカル体の結果ではありません。サイコノエティカル体は何をも苦しむことはありません。**

Ｑ：しかし肉体の健康あるいは健康でない状態、それはサイコノエティカル体の結果であると聞いています。しかし、人々を助けるために転生している自己実現したパーソナリティーはサイコノエティカルな理由では苦しむことはないが、肉体は結果を被るということですね。

Ｋ：そうです。しかし、そのパーソナリティーにとって二元性の意味はもはや存在しません。しかし、法則は結果をもたらすことによってバランスを維持するのです、肉体についてのみならず、毎日の生活、家族そしてその人が自分を現している社会における困難な出来事においても。他人の苦しみを軽減すると言うとき、どのようにして軽減するのでしょうか？苦しみを軽減して助けてくれる誰かをなぜ必要とするのでしょうか？ヒーリングと言われる現象は何でしょうか？唯一の真のヒーラーはロゴス自身です。なぜロゴスは介入するために人間を必要とするのでしょうか？何故でしょうか？なぜなら、人間を通じて行うからです。十字架にかけられるのは実際ロゴスの身体なのです。

身体が「苦しんで」いる時、実際には主の身体が苦しんでいるのです。特に自己実現した現在のパーソナリティーが、主のアガピを他の同胞の人間達に与えることによって。さもなければ、なぜ自己実現した現在のパーソナリティーは他の人々を背後に残したまま去っていかないのでしょうか？

Ｑ：あるレベルでは私はそれを理解します。しかし他のレベルでは私はまだそれについて多くの疑問があります。なぜなら。自己実現したパーソナリティーは肉体を通じて入り、そして法則の結果を被ります。それはわかります；しかし、自己実現したパーソナリティーにとって原因・結果の法則による結果は、低いレベルの現れである人間よりもずっと僅かでしょう。なぜなら、自己実現したパーソナリティーは肉体のなかにいても、無知のなかにいる人間とは違い自分をしていることについての知識があるからです。

Ｋ：いいですか、あなたは自己実現した現在のパーソナリティーは何であれその現れの知識のレベルから自分を現している、と見なしていますね。それは違います。もしその人がそのように自分を現すなら、その人は（＊他の人々から）全く受け入れられないでしょう。**自己実現したその人の部分、それは沈黙のなかで表現され、それは表現されますが人々には認識されません。不可視のヘルパーとして行うワークにおいて確かに自己実現したパーソナリティーが行っています。それは一般に他人に知られている名前をもった現在のパーソナリティーとしてではありません。現在のパーソナリティーは必要に従って、主の恩寵の命ずるところに従って働きます；必要な場所で行い、それは自動的です。観察して、それから行動するというのではありません。**

SPA 7O/KE00/N/4/2nd